

## 平成20年第4回周南市議会定例会一般質問通告一覧表

(平成20年9月5日～10日)

### 1 得重謙二(刷新クラブ)

#### 1 小学校の教育環境の充実について

(1) 少人数学級の推進を。

ア 1クラス40名体制は教師の負担大になっていないか(特に低学年)本市の現状を伺う。

イ 少人数学級に向けた具体的な県への働きかけの取り組み状況は。

ウ 教育環境の充実を図るため周南市独自の対策を講ずるべきではないか。

(2) 校庭内遊具の老朽化について

ア 点検基準と要領は。

イ 今後の修理、更新のスケジュールは。

#### 2 児童クラブについて

(1) 運営の適正化について

ア 市内の各児童クラブの定員と利用状況は。

イ 必要度に対応した入所がなされているのか。

(ア) 具体的な入所判定は。

ウ 今後ますます市民からの入所要望が高まると予測されるが、運営の適正化に向けた市の取り組み方を伺う。

### 2 坂本心次(顕政会)

#### 1 ぬくもりのある地域での国体開催に向けて

(1) 第66回国民体育大会山口県準備委員会では、国体県民運動として4つの基本目標があるが、それに基づく「国体市民運動」をどのように考えているのか。

ア 市民ボランティアを育てる環境づくりはどのように進めているのか。

イ クリーンで快適なまちづくりのため、清掃ボランティアの活用は。

ウ 心と体の健康づくりのための環境整備は。

エ 全国発信のため、どのような体制で臨むのか。

#### 2 ぬくもりのある地域の集落支援員について

(1) 4月に全国過疎懇談会から「集落支援員」や「集落点検」が提言され、総務省はそれに取り組む自治体の経費を特別交付税で措置するということだが、市はどのように取り組むのか。

### 3 立石 修(顕政会)

#### 1 合併未調整項目

(1) 調整時期と調整内容は。

ア 上水道料金・料金体系

イ 学校給食の給食費の統一

#### 2 港湾の整備

(1) スーパーバルクターミナル関連

ア (仮称)周南バルクターミナル(株)の設立等について

イ 平成22年度改定される徳山下松港の港湾計画について、市としてどのように把握している

か。また、県に対しどのような働きかけをしているか。

(2) N7号埋立事業

ア 進捗率と追加予算は。

イ 合併特例債活用の考え方は。

(3) 新南陽埠頭

ア 埠頭整備（ガントリークレーンの設置）の方向性は。

### 3 合併特例債

(1) 今後どのような事業に活用していくのか。

### 4 市の公共施設における食品廃棄物のリサイクル

(1) 学校給食、市民病院、市の介護施設などで発生する食品廃棄物のリサイクルへの取り組みは。

## 4 土屋晴巳（新政会）

### 1 AED（自動体外式除細動器）設置事業について

(1) 普通救命講習（AED使用法含む）受講実績は。

ア 市民、教職者関係、市職員

イ そのうち、救急蘇生ガイドライン変更（平成18年）後の再受講状況は。

(2) AEDの設置場所は統一されているのか。

ア 各小中学校、支所の設置場所

イ 併設屋内体育館の夜間・休日利用時の有事使用を考慮した設置場所となっているのか。

(3) 貸し出し実績は。より一層の貸し出し（各地区の運動会やイベント時等への貸し出し）促進が求められる。主催者である各種団体等へ周知する必要があるのでは。

(4) 今後の新設・増設計画はあるのか。

## 5 西田宏三（周南会）

### 1 農業振興と魅力あるまちづくり

(1) 道の駅構想について

ア 目的とその必要性

イ 規模とその内容はどのような形か。

ウ 建設費用はどの程度か。

エ 経営形態はどのような形を見ているのか。

オ 収益（売り上げ）はどのくらいを目指しているのか。

カ 需要と供給のバランスは。

(2) 農林業について

ア 市有林の規模は金額にしてどのくらいになるのか。

イ その利用価値はどの程度に。

ウ 現在、間伐して森を守らなければならないが今後の方針は。

エ 民間に木材として売却をするためにどのような工夫が必要か。

## 6 長谷川和美（至誠会）

### 1 ラジオ体操で健康づくり・地域づくりを

(1) 夏休み中の小中学生の取り組み状況は。

- (2) 小中学生の体格、体力の現状と問題点は何か。
- (3) 子供から高齢者まで、健康づくりと触れ合いから進める地域づくりに、ラジオ体操の普及の方向性は。

## 2 全視覚障害者の生活に必要な情報を提供できるサービスの充実を

- (1) 視覚障害者の現状は。
  - ア 人数
  - イ 生活上大切な公的情報提供の方法
  - ウ 生活用具（読み取り機）の普及状況と支援体制
- (2) 8月15日号市広報掲載記事「市からの郵便物に点字シール」の内容と実施理由、今後の方向性
- (3) 周南市としての視覚障害者への今後の情報提供において、個人情報保護法上でどう取り組むのか。

## 7 小林雄二（刷新クラブ）

### 1 職員定員適正化計画の到達点及び今後の採用計画について

- (1) 計画途中、原則採用凍結方針も出されたが、勸奨退職、自己都合退職、さらには団塊世代退職を踏まえ、平成22年度の到達点はどうか。
- (2) 新規採用に当たっての基本原則はどうか。
- (3) 再チャレンジ型採用試験と定員適正化計画との関連は。
- (4) 臨時職員募集と定員適正化計画との関連は。

### 2 学校給食の今後のあり方について

- (1) 新たに食育の観点から、必要なものは何か。
- (2) 保護者徴収の給食費の基本的な部分は何か。
- (3) 食物アレルギーへの対応について基本的な考え方はどうか。
- (4) 食育、アレルギー食相談などを統括する栄養士などの各センター及び学校への配置が重要ではないか。

### 3 各種選挙投票所のバリアフリー化について

- (1) 各種選挙の投票率低下の兆候が顕著である。直接の投票率に関連しないまでも、投票所へ行きやすいかどうかは重要なポイントである。各投票所のバリアフリー化はどの程度となっているのか。
- (2) 物理的に早急な対応ができないにしても、案内や補助体制は人的に可能であり、親切な対応を求めるものである。

## 8 長嶺敏昭（参輝会）

### 1 動物園リニューアル計画策定について

- (1) 7月に計画について業者選定がされ、2月をめどにリニューアルの案が出てくるとのことだが、どんな実績のある業者なのか。
- (2) 計画案は動物たちの展示の仕方なのか。アクセスや駐車場までの大規模リニューアルなのか。
- (3) 6月議会の質問では観光立市、環境面でのコンセプトに御理解を示された。白紙でアイデアを募るのか。財政上の制約や周南市の考え方などを示したアイデアを募るのか。

### 2 鹿野地区の幼稚園、保育園のあり方について

- (1) 幼保連携型認定こども園とは、鹿野地区の場合、具体的にどんな形態、内容を想定しているの

か。課題は何かあるのか。連携により保育園の定員がふやせないか。

(2) 鹿野幼稚園は開設50周年を迎える。これを機に施設改修、空調整備、遊具の修理点検をするべきと思うがどうか。

(3) 鹿野保育園のアクセス道が狭く、袋小路だ。しかも自動車の回し場がない。事故のもとだが。

### 3 岩崎家文化財、古文書の取り扱いについて

(1) 岩崎家は「潮音洞」を開いた子孫。商標看板や製薬用具、古文書は鹿野にあってこそ値打ちがあるもの。鑑賞しやすいように展示を考えるべきだがどうか。

(2) 岩崎家文化財は公民館新館3階に保管してあるが、公民館のリニューアルの中で展示設備などを同時に考えていくべきだが。

### 4 平成の名水「潮音洞」の取水口の改修

(1) 山口県指定の文化財である「潮音洞」は地域農業の生命線でもある。裏山の取水口付近の整備が必要だ。県とも連携し、早急な対策をして欲しい。

### 5 鹿野あぐりハウスの将来展望

(1) 鹿野あぐりハウスやワサビ農家の実情はどうか。

(2) 技術職員の定年も近い。パイオワサビの技術継承、存続を求める声もある。施設の今後の運用はどう考えているか。

(3) JAとの関係は怎么样了のか。

## 9 青木義雄（参輝会）

### 1 教育行政

(1) 坂本教育長が就任されて1年が経過した。現状をほぼ把握されたであろう教育長に、困難な課題が山積する教育行政の現状や今後の展望を問う。

ア 最優先課題は何か。

イ 最重要課題は何か。

ウ 独立した組織である教育委員会として、教育ビジョンを軸としての教育マニフェストの必要性

エ 一昨年60年ぶりに改正された教育基本法や学校教育法を踏まえて、本年3月学習指導要領が改訂された。来年度から移行措置がとられて小学校では平成23年、中学校では平成24年に完全実施となる。「生きる力」の基本理念は継続だが、新学習指導要領に対してどのような理解や認識をされているか。

### 2 公正・公平な行政

(1) 大分県教員採用にかかわる一連の不祥事は行政全体への信頼をも著しく失墜させた。地方自治体は今まで以上に襟を正す姿勢を積極的に示すことが肝要と心得るが。

ア 職員のコンプライアンスはどのように図られているか。

イ 政治倫理条例の全市的な周知を再度行う必要があるのではないか。

ウ 一定の公職にあるものからの不当な要求の記録制度は機能しているのか。

### 3 国立公園太華山

(1) 国立公園でもある太華山は、観光立市として推進が図られる観光行政における観光資源としてはどのような評価認識なのか。

(2) 場当たりのではなくて長期的・計画的なハード面の整備が必要と思われるが。

(3) 地元地域との協力、協調はできているか。

#### 4 地域づくり

(1) 行政と地域の協働で全市的に各地域にコミュニティ推進組織が確立する。コミュニティ推進組織と自治会組織との連携、協調もしくはすみ分けや調整はできているのか。

### 10 西林幸博（刷新クラブ）

#### 1 確定申告期間中の土日業務について

(1) 毎年2月、3月の確定申告期間中は税務署はもとより市の受付窓口も大混雑する。また、申告者は平日の日中に手続を行わなければいけないので、仕事を調整しなければならない。つまり申告者の立場に関係なく、役所の都合で運営されている。よって、期間中の土日業務、または夕方の業務サービス改善を導入するように働きかけるべきではないか。土日などに分散することで、逆に平日の緩和が図られる。

#### 2 市税等滞納者の個別対応について

- (1) 税、利用料の滞納状況は。
- (2) 税及び利用料滞納者に対して、個別に滞納の理由について事情聴取しているか。
- (3) 滞納者が消費者金融とトラブルになっているケースはどのくらいあるのか。
- (4) 消費者金融を利用した者は、また次の消費者金融を使い、結果として多くの過払金を強要され、税の滞納に結びついていることが多いと聞く。行政が滞納者と消費者金融の仲介となり、過払金をなくすことで、納付できるシステムづくりを構築できるが対策を聞く。

### 11 米沢痴達（顕政会）

#### 1 中山間地域づくりについて

- (1) 中山間地域づくりを所管する課又は室を設置すべきでは。
- (2) 中山間地域が直面している課題
  - ア 公共交通機関の維持と新たな交通システムの取り組みは。
  - イ 「鳥獣被害防止特措法」による本市の取り組みは。
  - ウ 上下水道整備の計画は。
  - エ 学校教育について
    - (ア) 過小規模校の児童生徒の教育現状をどうとらえているか。
    - (イ) 学校再配置計画の取り組みは。
  - オ 大津島振興について
    - (ア) 漁業再生支援の取り組みは。
    - (イ) 島民の船運賃負担軽減について
  - カ 地域の安心安全の担い手である建設業者の役割について

### 12 岸村敬士（新政会）

#### 1 市役所の新築について

(1) 庁舎は昭和29年の建設から50数年経過し、耐震構造にもなってなく、県下では最も古い。合併特例債の利用期限はあと5年だ。今決断をしないと庁舎建設は永久に不可能になるのではないか。市長の英断の時期だと思うがどうか。

#### 2 赤線などの道路原材料費の充実を

- (1) 道路原材料費の予算が年々減り、極端に少ない。もっとふやすべきだ。
- (2) 原材料支給で材料のみでなくダンプ、ローラー、バックホーの機械のレンタル費用を支給したらどうか。

### 3 農道・水路整備費の充実を

- (1) 山間部は農道や水路が多く、これらの改良の要求は多い。しかし、予算が極端に少ないため一向に改良が進まない。予算をふやすべきだ。

### 4 2011年に開催される山口国体について

- (1) 競技に関することは心配してないが、選手や関係者を歓迎する花いっぱい運動はどのように進めるのか。
- (2) 教育委員会生涯学習課の進める花壇コンクールとの関係はどうか。
- (3) 本市の国体強化選手に本市として、何らかの手助けはできないか。

## 1 3 反田和夫（公明党）

### 1 周南市への転入率向上について

- (1) UJIターン促進事業の進捗状況は。
- (2) 市外近辺地域からの転入率の進展はどうか。
- (3) 周南市は平成26年までに総人口16万人にする目標を掲げていると聞くが達成できるのか。

### 2 環境問題について

- (1) 本市におけるCO<sub>2</sub>削減対策の取り組みと対応について
- (2) 公共施設に自然エネルギー（太陽光発電）等を取り入れ、設置する考えはないか。
- (3) 地方公共団体のグリーン購入の取り組みの推進について

### 3 DV（ドメスティック・バイオレンス）の実態と対応について

- (1) 本市において相談件数と実態について
- (2) 緊急避難（シェルター）等の確保はできているのか。
- (3) 青少年犯罪との関係はないか。

## 1 4 炭村信義（民主の会）

### 1 市政運営について

- (1) 「周南再生塾」の事務局を教育委員会に設置し、任意団体である実行委員会の支援をされている。「周南再生塾」実行委員会への支援は合併後進めてきた任意団体への対応と矛盾しないか。対応方針を変更されたのか。
- (2) 市内に多くのNPO法人等営利を目的としない団体が認証されている。こうした団体を行政が側面から応援し市政運営に活用していく必要がある。  
ア 団体からの相談等を1カ所の窓口で受ける体制はできないか。

## 1 5 久保忠雄（周南会）

### 1 まちづくり総合計画後期基本計画について

- (1) 後期基本計画の意見募集について  
ア 市広報8月号の意見募集ではただし書きに、意見は募集するが、個々の意見や疑問には回答しないとあるが、計画の目標課題は参画・協働や対話による達成であり、市民の意見は謙虚に受けとめ納得のいく回答を惜しんではならないと思うが、回答しない理由は何か。

- (2) 前期基本計画並びにこれを達成するための実施計画、分野別各種計画の進捗状況、達成度は。
- (3) 計画の二元性は理解するが、本来3年ローリングの実施計画を毎年見直さなければならないのは、どのような理由からか。基本計画、実施計画ともに市民との約束事であり、計画の形骸化を避けるためにも見直し条件の明文化が必要と思うがいかがか。
- (4) 景気は確実に後退局面に突入し、中小零細企業、第一次産業は極めて厳しい状況にあるが、「合併してよかった」と感じられる市の対応策を考えているか。また、市民生活の現状を把握しているか。
- (5) 島津市長の「道の駅」構想は、市の東西に大きな期待の輪を広げているが、市民の多くは、何もわかっていないのが現状である。計画の概要だけでも知らせるべきではないか。

## 2 農振計画について

- (1) 本市の農振計画について

ア 今や農村振興、農業振興は、国を挙げて喫緊の課題である。市長発案の「道の駅」とも密接に関連することであるが、計画推進の予算はゼロ、毎年見直す実施計画の中で検討することになっている。計画実施への不安はもとより、計画の前提になる基礎調査の調査方法の信憑性に問題がある。少なくとも熊毛地区では、計画数値と現状では、かなりの差異がある。基礎調査まで地区外コンサルタントに任せたのか、調査の具体的な実施方法は。実態把握について、再検討するつもりがあるか。

イ 地区別（旧市町別）の遊休農地、荒廃農地、圃場整備済みの優良農地、その他農業振興地域の農業用地を調査されているのかどうか。それぞれどれくらいの面積があるのか、実態は。

## 3 ツルの保護について

- (1) 傷病ツル対策は、現在の方法が最高の方法か。ほかに方法はないのか。

# 1 6 尾崎隆則（顕政会）

## 1 学校給食センター建設整備計画について

- (1) 学校給食センター建設基本計画（12カ所）の変更はできないのか。

ア 今までの5センター方式でいけない理由は何か。

イ 西部に4カ所、東部に2カ所の施設は、絶対に必要なのか。

ウ パブリックコメントでも言われている。

エ 財政的に厳しい折、なぜ財源に逆行する計画を立てるのか。（5センターから12センターへ）

オ 13,000食のときは、つくってから食べるまで2時間と言っていたが、15分以内の配食というのは、新しい基準ができたのか。

# 1 7 金井光男（公明党）

## 1 森林資源の利活用について

- (1) 森林セラピー基地・ロードについての認識は。

## 2 成年後見制度利用促進について

- (1) 成年後見制度利用支援事業の活用等進捗状況は。
- (2) 「市民後見人」の養成で制度の利用促進を。

## 3 震災対策について

- (1) 周南市耐震改修促進計画について

ア 第1章第3節「想定される地震の規模、被害の状況等」の想定は甘くないか。

イ 第2章第2節「耐震改修等の目標の設定」における各用途別目標の平成27年度までの具体的な目標達成に向けた年次計画は。

(2) 学校施設の第二次診断及び耐震改修の具体的な年次計画は。

## 18 田中和末（刷新クラブ）

### 1 医療と福祉の連携について

(1) 本市における連携のシステムは。

(2) 脳卒中患者等、治療からリハビリまでの連携が不可欠な患者に有効なクリティカルパス導入に向けたシステムの構築を。

### 2 防災について

(1) 自主防災、小地域の取り組みが必要と考えるが、行政としての指導、援助は。

(2) 高齢者世帯、独居老人世帯、要介護者への避難場所の周知、避難方法等の対応について、その徹底はなされているか。

(3) 避難所、防災公園等の整備は。

### 3 周南市野球場の改修について

(1) 周南市野球場の電光掲示板を初めとする施設の改修について、関係諸団体から要望が出されている。また、多くの市民、野球愛好者からも期待されている。基本的には改修の方向と認識しているが、改修の時期、規模、費用、方法等、具体的な方針を。

## 19 高松勇雄（民主の会）

### 1 社会福祉事業団に対する市の現状認識について

(1) 事業団に対しての市の現状認識と事業展開等に関する評価はどうか。

(2) 鼓海園やきずな苑等の施設状況は。建てかえ等の予定は。

(3) 顧客サービスの向上や職員の安定雇用の面からも指定管理者制度の適用の見直しはできないか。

### 2 青年法政大学について

(1) 青年法政大学の現状と今後の展開をどう考えているか。

### 3 公共施設をすべて携帯電話利用可能エリアに

(1) 大田原自然の家等の公共施設は携帯電話の利用可能圏内となるようアンテナの設置ができないか。

### 4 学校施設の利用料について

(1) 所得のない青少年の施設使用料、利用料、照明料がなぜ免除にできないのか。

## 20 岩田淳司（参輝会）

### 1 周南市民の血税にて運営される地方卸売市場の取り組みについて

(1) 市場規模の把握、いわゆるマーケティングリサーチをして経営計画を立てていった方がよいのではないか。

(2) 卸売業者に半期ごとぐらいで目標進捗状況を報告させるようにした方がよいのではないか。

### 2 新設される場外舟券売り場「オラレ」を含む競艇事業について

(1) 「オラレ」における舟券購入者数のチェックは舟券データにて把握できるが、入場者数はチェックできるのか。入場者への誘いかけ等により「オラレ」自身に魅力をつけていくべきだと思う

が何か考えがあるか。

- (2) 「オラレ」を不採算にしないためにも、目玉としてG レース以上のレースを開催できるように検討してみてもどうか。

### 3 障害児に係る諸手当等の申請手続について

- (1) 現在、障害児に係る諸手当等は複数あり、健常児向けのものを含めると、市独自のもの及び国、県の申請委託を受けたものと合わせて、かなりの数に上る。これらの申請手続について  
ア これらの多くの種類の手続はそのたびごとに市役所に出向き申請及び認定を受けることとなっているが、申請を同時期にまとめ、なるべく少なくすることは検討できないか。  
イ 申請自体を簡素化する検討はできないか。

## 2 1 吉平龍司（公明党）

### 1 介護予防・生活支援による「生きいき幸齢社会」の構築について

- (1) 介護保険事業・老人保健福祉の計画策定への今年度の取り組みは。  
ア 国の医療制度改革の中で計画されている介護療養病床の廃止に伴う病床転換についての対応は。  
イ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）等の個室・ユニットケアへの取り組み  
ウ 一体的かつ総合的な組織機構で介護・福祉・健康増進施策の充実  
エ 認知症高齢者と高齢者虐待ケースへの現状と課題

### 2 財政運営の課題と展望について

- (1) 国から示された新財政指標による財政状況の考察と情報開示時期
- (2) 新年度の財政健全化指針

### 3 緑のリサイクル事業について

- (1) 公園や街路樹の剪定枝等の緑化推進資材として再利用の現況
- (2) 一般家庭からの剪定枝等も粉碎処理によるチップ・堆肥化等で有効な再資源物へのシステムづくりは考えられないか。

## 2 2 小坂玲子（至誠会）

### 1 国民宿舎等の市関連の温泉施設の役割を問う

- (1) 高齢者、障害者の利用に対応できているか。

### 2 敬老会の運営のあり方について

- (1) 地区別の敬老会の現状はどのようになっているか。

### 3 ブックスタート事業について

- (1) すべての対象月齢の赤ちゃんに対して、きめ細やかな配慮はされているのか。

## 2 3 中津井求（至誠会）

### 1 鳥獣駆除対策の進捗状況

- (1) イノシシ、猿の被害対策についてどう取り組んでいるか、その具体的内容を問う。
- (2) 市長は専門家による指導の必要性に言及されているが、その対応はいかがか。
- (3) 猟友会等への協力による対策  
ア 防護さく  
イ 各種のわな

ウ 有害鳥獣捕獲期間は。

エ 爆竹、おどし（天敵等対策）

(4) これからの課題として新たな対策が必要と考えるがいかがか。

ア イノシシ、猿が山にすめる環境づくり（広葉樹林、混交林、果実林）にどう取り組むのか。

## 2 小中学生の体力・スポーツ力向上について問う

(1) 文科省が今年度から実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」だが、本市はいかがか、見解を問う。

(2) 山口県の小学生、中学生の体格は全国的に下位にあると認識しているが、その理由はいかがか。

(3) スポーツ（競技）との関連性はあるのか。

(4) 国体を3年後に控え、今後学校として指導はいかがか。

## 2 4 徳原尚一（参輝会）

### 1 街路樹や市の管理下にある樹木の管理について

(1) 落ち葉対策について

(2) 高木の管理対策について

(3) 街路樹や市の管理下にある樹木の管理についてコンセプトはあるのか。

(4) 地区清掃や学校清掃で伐採した草木の処理について

### 2 住居表示問題について

(1) 住居表示問題に対して周南市の取り組みと進捗状況はどうか。

## 2 5 中村富美子（日本共産党）

### 1 ごみ問題について

(1) 市長は、ごみの減量化は避けて通れないというが、有料化問題とは切り離して市民と協同して減量化を進めることが大事であると思う。そこで一般廃棄物の半分程度を占める生ごみ減量化を推進するに当たり、

ア 地域や公共施設での生ごみ処理機の設置はどうなっているか。

イ 一般家庭の生ごみの堆肥化を進めては。

ウ 堆肥化センターの整備をしては。

### 2 永源山公園の維持管理について

(1) 階段式の滝、カスケードの塗装の塗りかえを。

(2) 母と子の広場のフジの花の管理は十分か。

### 3 漁業者の救済について

(1) 燃料高騰で漁業者の操業は大変である。国は若干の援助はするようだが、市としての救済策は考えているか。

## 2 6 形岡 瑛（日本共産党）

### 1 農業政策

(1) 市街化区域にある農地への課税について

ア 課税額は農業振興地域と比較してどの程度か。

イ 平成19年度に引き上げられたのか。

(2) 国の経営安定対策の影響について

- ア 「品目横断的経営安定対策」で認定された営農組織・農家の現状は。
- イ 「特認」で認定された営農組織・農家の現状は。
- ウ 認定されていない営農組織・農家の現状は。

## 2 「(仮称)自主納付推進センター」事業

- (1) なぜ「派遣」を受け入れなければならないのか。
- (2) 徴税業務の中に民間から派遣を受け入れることについて、問題点をどう認識しているのか。
- (3) 派遣業者の決定の方法は。
- (4) 「3年」経過した後はどうするのか。
- (5) 守秘義務は担保されない。

## 3 消防広域化について

- (1) 準備はどこまで進んでいるか。
- (2) 今の体制がどう変わるか。
  - ア 消防職員の配置は。
  - イ 消防本部等の位置は。
- (3) これに伴う課題をどう認識しているか。
  - ア 新たな施設整備が要るのか。
  - イ 消防本部の出動、消防団の出動、地域住民による初期消火作業との連携はどうか。
    - ア) 現状ではうまく連携できているか。
    - イ) 広域化で何が変わるのか。

## 4 JA周南大津島支所廃止に伴う対応は

- (1) 大津島ではJAの支所廃止に伴い、どういう対応がされるのか。
- (2) 住民の利便性を維持するため、市としてやるべきことはないのか。

## 27 古谷幸男(顕政会)

### 1 市政運営について

- (1) 学校給食について
  - ア 12センター建設基本計画について問う。
- (2) 徳山駅周辺整備事業と産業道路の東進並びに港の整備の関連性と実現性について問う。
- (3) 周南再生塾の設立についての考え方
- (4) UJIターン再チャレンジ型採用試験について
  - ア 年齢基準の考え方は。
- (5) 職員の業務に対する姿勢について
- (6) 財政状況について
  - ア 今後の見通しなどについて

## 28 兼重 元(至誠会)

### 1 税収確保のための努力を問う

- (1) 不納欠損の実態
  - ア 過去5年間の推移とその分析
  - イ 徴収事務マニュアルの有無と不納欠損に至る判断
  - ウ マニュアルに基づく収納率目標値を定めた対策プランの有無は。(収納対策プラン)

- エ 差し押さえ物件の高額売却を目指すためのインターネット（ヤフー）公売の採用は。
- オ 収納機会の拡大からクレジット納付、コンビニ収納の採用は。

## 2 鹿野小学校屋内体育館工事の問題

### (1) 公共工事に対して法令遵守の考え方を問う。

- ア 違法行為ではないが、実態との乖離（品質・価格・安全性の確保）がある。社会的要請への適応が必要

### (2) 発注のあり方に問題はないのか。

- ア 競争入札参加資格に登録する業者から結果的に施工能力のない業者を選定し、発注したという事実に対して、その責任の所在はどこにあると思うか。そこには懲罰的機能が働くのか。

- イ 国土交通省は平成17年度に「公共工事の品質確保の促進のための施策に関する基本的な方針」を提示しているが、本市はどう用いているのか。

### (3) 工事施工監理に対応できるシステムを問われている。

- ア 工事施工監理能力不足の担当者と施工監理システムの整備についてどうとらえているのか。

- イ 過去の工事には問題ないと言えるのか、耐震性能等はどうか。

- ウ 施工監理に外部から専門家を選定しその任に当たる方法はどうか。（工事担当職員と請負業者の信頼関係の欠落に起因する）

- エ 再発防止策であるが、調査委員会の提案する「再発防止システム」をどう取り扱うのか。

- オ 条件付一般競争入札の拡大による業者育成の視点はどうとらえるのか。

- カ 落札率の低下による工事の品質確保はどうするのか。

### (4) 耐久性の確保についてどのように考えているのか。

- ア 調査委員会の判断では「50年程度の耐久性を保つためには、補修をしていく必要がある」とあり、どうするのか。また、既存の建物の耐震基準確保はどうか。

## 2.9 藤井直子（日本共産党）

### 1 地域医療について

- (1) 社保庁の解体に伴い、徳山中央病院の保有者をどうするのか危ぶまれている。国に対し、公的病院として存続させるよう要請を。

### 2 介護保険制度について

#### (1) 利用者

- ア 特別養護老人ホーム

- (ア) 入れないものというあきらめムードまでであるが待機者数は。

- イ 訪問介護

- (ア) 「妻のヘルパーに夫の洗濯物だけ取り入れてもらえない」「仏様の花の水はかえてもらえない」「A病院とB病院に行くとき、一たん家に戻ってB病院に行かなければならない」など冷たい介護保険

- (イ) 2008年5月20日、参議院厚生労働委員会で小池晃議員が、ヘルパーの行うサービス内容に事細かな制限や禁止があるローカルルールについて質問し、「法令に定める基準以上の内容を仮にこういう形で指導しておるとすれば問題である」「介護保険の目的は、介護される人ないしその家族が快適な状況になることが必要」「柔軟な発想を持ってやる必要がある」と答弁している。これに沿って行うべき。

ウ 地域包括支援センター

(ア) 鹿野や熊毛の予防介護の相談窓口は徳山であるが、実際に機能しているのか。

エ 保険料、利用料の軽減を。

(ア) 高齢者増税の影響で保険料が急激に上昇した人にはもとの段階に戻せ。

(イ) 保険料所得階層の細分化

(ウ) 利用料の軽減

(2) 働く人

ア 特別養護老人ホーム職員

(ア) 男性職員が他の業種に比べ賃金が2割低い。

(イ) 介護の専門学校を卒業しても、介護職を選ばない若者

(ウ) 重労働から腰痛になり退職する。

イ ケアマネジャー

(ア) 平成18年の改定で報酬は上がったが、事務量は激増。件数が制限され収入はふえていない。展望が持てない。

ウ ホームヘルパー

(ア) 家事援助の内容の制限が厳しく、社会通念上当たり前ができない。人として心が痛む。提供できるサービス、できないサービスの説明がヘルパー任せで、「以前はやってもらえたのに」と利用者とのトラブルになる。市が市民（いずれ利用者になる）に説明すべき。

(イ) 男性は正規職員でも一般の企業より年収で100万円少ない。

(ウ) 登録ヘルパーは時間給のため月の収入が安定しない。

(エ) 登録ヘルパーはガソリン代の高騰がこたえる。

(3) 事業所

ア 特養

(ア) 2度の介護報酬引き下げで経営は大変

(イ) 人材の確保が大変。市の人材バンクを。

(ウ) 建てかえや改修の費用捻出が困難

(エ) 燃料高騰は湯を流しっぱなしの介護浴にはこたえる。

イ ケアプラン作成の地域包括支援センター、在宅介護支援センター、訪問介護事業所の役割分担は。

ウ 訪問介護事業所

(ア) 撤退した事業所とその理由は。

(イ) 見守りのある集合住宅の建設を。

(ウ) 利用料にはね返らない報酬の引き上げで、利用者も介護職員も事業所も展望を。

(エ) 人材不足に悩む。

(オ) 認知症の介護認定が低い。「見守り」を介護と認めるなど柔軟な対応で認知症の人が家で過ごせるように。